

- ◆企画名 運営本部夏合宿
日 程 2017年9月13日(水)～9月14日(木)
場 所 関西大学 高岳館
参加者数 14名(ピア・サポーター6名、研修生5名、学生支援室TA1名、職員2名)
目 的

- ・レクリエーションなどを通して、新しく運営本部に入ったメンバーと親睦を深める。
- ・過去の企画の振り返りを行い運営本部の現状を見つめなおし、活動理念の再確認をする。
- ・過去の企画のフィードバックから、これからの運営本部の方向性を考え、共有する

内 容

- ①心理ゲーム
アイスブレイクとして合宿初日の緊張をほぐすために行った。
- ②スキルアップ穴埋め
ピア・サポート活動を通して得られるものや、ピアの理念を穴埋め形式で答えていく企画を行った。
- ③振り返りワーク
今後の活動を円滑にするため、過去に運営本部で実施した企画を新メンバーに紹介し、内容や注意点を知ってもらった。
- ④ジェスチャーゲーム
2日目の朝に、レクリエーションとして頭と体をしっかりと起こし、これからのワークに集中できるようにするために行った。
- ⑤1日目のフィードバック、企画作り
1日目で行った振り返りワークをもとに思ったこと、考えたことを個人で書き出し、その後グループで共有した。そして、集まったアイデアから実際に企画を作り、発表するという実践を目的としたワークを行った。

効 果

- ・ピア・コミュニティ全体合宿ではなく、運営本部のみの合宿であったため、新メンバーに対して、過去に運営本部はどのような企画を行ったのか、ピア・サポートとは何かを理解することを重点としたワークを行うことができた。
- ・合宿を行った高岳館ではKUコアラも合宿を行っていたので、共同で懇親会を行い、運営本部の活動理念の一つにある、コミュニティ間の交流の促進としての良い機会ともなった。

改 善 点

- ・心理ゲーム自体があまりアイスブレイクに向いていないように感じた。
- ・ワークごとにタイムキーパーを設けていなかったため、時間配分に少し問題が出た。
- ・ジェスチャーゲームが少し盛り上がりに欠けた。
- ・新メンバーが合宿の準備にかかわる機会が少なかった。

感 想

- ・新メンバーが加入して、体制が落ち着いてきた頃であり、新メンバーがこれから企画を担当していくにあたって、何をすればいいのか混乱しないようにアドバイスをする機会としても、合宿を行うことができ良かった。
- ・自分自身、合宿を担当することが初めてだったので、至らないことがたくさんあったが、この経験を資料として残し、これからの運営本部全体としての活動に生かしていきたいと思った。